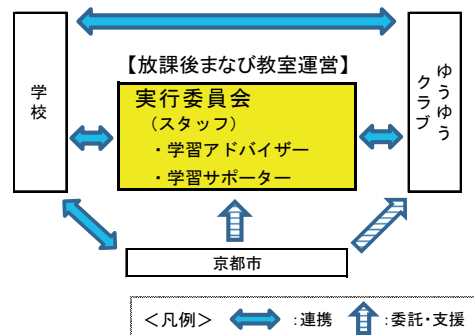


# 地域の力で子供たちのまなびを支援－自学自習の習慣付けや学力の定着を図る

京都府京都市	● 活動名	● 関係する学校名
	九条弘道小学校放課後まなび教室	京都市立九条弘道小学校

開始年度	平成 20 年度	学級数	10 学級	生徒数	126 人
放課後児童クラブとの連携					
一体型	連携型	(連携状況) ■毎回 □定期的に □イベントがある時 □活動場所を共有 (共有の活動場所)	連携なし	子供の参加人数	平均人数 12 人
統括的な地域学校協働活動推進員の数	配置人数 0 人	地域学校協働活動推進員の数	配置人数 1 人	実施場所	施設名：小学校 実施場所：教室
ボランティアの数	登録人数 22 人	属性	PTA 役員、地域住民等		学習活動の有無 有
参考 URL	http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=104807				

● 体制図



● 連絡先 京都市子ども若者はくくみ局育成推進課 ☎ 075-746-7610

- 活動の概要・経緯
- 放課後における児童の自学自習を中心とした学習習慣の定着と安心・安全な居場所の充実を図るため、平成 20 年度に開設した。
  - 平成 21 年度から、授業実施期間中は週 5 日（月曜日～金曜日）実施しており、平成 28 年度は 148 日実施した。
  - 次のことを活動目標としている。
    - ・学力向上の取組の一環として、児童の基礎的・基本的な学力の定着や、自主的に学習する習慣づくりを図る。
    - ・「地域の子は地域で育む」基本方針の下、地域や学生の参画を得て、放課後の子供たちの安心・安全な居場所づくりを進める。
  - 隣の教室において、ゆうゆうクラブ（放課後児童健全育成事業）が実施されており、本活動との連携・協働が進められている。

## ● 活動の特徴・工夫

### 【特徴的な活動内容】

- スタッフがそれぞれの特技、特性等を生かし、月曜日は英語、火曜日がそろばん、水曜日が手芸や折り紙、木曜日が書道、金曜日が読み聞かせや読書をしている。
- 教室に来た児童は、参加カードの提出後、通例、テーマ学習、プリント学習の順に取り組む。プリント学習は、スタッフが採点等を行っている。
- 学習スペースとプレイスペースが教室の中で区切られており、学習を終えた児童は、プレイスペースに移動する。
- 学校の宿題は、本活動では行わないことにしている。
- 隣の教室において、ゆうゆうクラブが実施されている。放課後まなび教室登録児童のうち 3 割を超える児童がゆうゆうクラブにも登録しており、放課後まなび教室での活動後、ゆうゆうクラブに通っている。

### 【実施にあたっての工夫】

- スタッフは、一人一人の児童に温かく接しながら、ルールを守らない場合には厳しく指導している。
- 実行委員会に学校長、教頭、教務主任が参加しており、連携・協働しやすい体制が整えられている。実行委員会及びスタッフは、児童の状況、取組内容、指導のポイント、教材・教具等について、学校と情報交換や話し合いを丁寧に行いながら、取組を進めている。
- 放課後まなび教室とゆうゆうクラブのスタッフが、お互いの教室に顔を出し、児童の参加状況、体調等の情報の共有をしっかりと行っている。

## ● 事業を実施しての効果・成果

- 「地域の子は地域で育む」という基本方針の下、実行委員会及びスタッフが、関係者と連携・協働して努力を続けてきた結果、児童の放課後の「自主的な学びの場」、「安心・安全な居場所」として定着している。
- 児童は、スタッフの指示、指導等をしっかりと受け止め、自主的にテーマ学習及びプリント学習に取り組めるようになってきている。これにより、自主的に学習する習慣が培われ、児童の基礎的・基本的な学力の定着に良い影響が出ている。
- 児童は、曜日によって異なるテーマ学習の実施により、様々な学びを経験できている。児童によっては、自分にとって関心が高いテーマ学習に出会うことができ、大変意欲的に取り組んでいる。

## ● その他

学習支援の活動内容については、「活動の特徴・工夫」欄に記載。  
ICT の活用については、タブレット PC を用いて、児童が課題に応じて自習することや、興味関心に応じた動画を見て学習を深めること等を計画している。



テーマ学習 (書道)



プリント学習

ポイント

学童クラブと連携しながら活動を展開し、コミュニケーション良く運営されている姿が分かります。自主的に学習する習慣づけに力をいれていることも、子供たちの力を伸ばすことに大きく寄与していると思います。